

『たすけ』の気まぐれコラム（第十四回）

こんにちは『たすけ』です。今回は住宅設備機器リフォームのお話です。

システムキッチン・システムバス・洗面化粧台を水廻り3点セットと呼び、それにトイレ（便器）、給排水設備、給湯器、照明器具などを総じて住宅設備機器（住設機器）と呼びます。

リフォームで多いのはトイレ・システムキッチンではないでしょうか。

いずれも多機能であり、ショールームを見にいけば購入意欲が高まるのが目に見えます。

トイレの多機能化は目を見張るものがありますが、**最低条件は温水洗浄機能**です。

一般的に「ウォシュレット」や「シャワートイレ」と呼ばれるもので、温水洗浄機能以外に節水や清掃が簡易など多機能なものも多いことが特徴となっていますが、リフォームにあたっては、

最低機能+手すりの形状・位置などを重視すべきでしょう。

システムキッチンは、女性目線でどうしても見栄えの良いものを選択しがちです。ショールームへ行けば、1ランク・2ランク上の製品に目がいきがちになります。潤沢な予算があれば良いのですが、ここは**冷静に機能重視で選bialい**ものです。

選択すべきNo1は、IHクッキングヒーターです。詳細な説明は省きますが、熱効率・燃焼効率を計算するとガスレンジより高火力な上、汚れにくく汚れ落としも簡単です。

一般的に知られていない効果に「**レンジフードの油汚れがほとんど無い**」ということがあります。ガスレンジは鍋の周りに急激な上昇気流を発生させ、油煙をレンジフードまで持ち上げますが、鍋自体に発熱させるIHクッキングヒーターには、そのような上昇気流が発生しない為です。

選択すべきNo2は食洗器です。共稼ぎが増え、男性の家事負担も多くなってきていますが、調理・後片付けは主婦主体ということが未だに多いのではないのでしょうか。

食器洗い時に、旦那は仕事、子供は宿題でもしていれば良いのですが、バラエティーでも見ていようものなら「何で私だけが」とストレスになってしまいます。

そんな時、**食洗器があれば家族揃っての団欒が可能**になります。殺菌・節水もできて、言う事無し。

私はショールームで「ヘソクリ使っても食洗器を付けなさい」と旦那さんへアドバイスしています。

次回はその他の住宅設備機器のお話です。お楽しみに。

